

# タマシギ

学名	Rostratula benghalensis (Linnaeus,1758)	
目名	チドリ目	
目名学名	CHARADRIIFORMES	
科名	タマシギ科	
科名学名	Rostratulidae	
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし



## 【選定理由】

土地改良により泥田が減少し、農業形態の変化により生息環境が悪化して、個体数が減少している。

県内分布	全域の水田、蓮田、休耕地や湿生草原、河川に留鳥。
分布域	本州中西部、四国、九州、琉球諸島で留鳥。
世界的分布	中国北部で夏鳥、中国南部以南の東南アジア全域で留鳥。
生息環境	水田や草丈の短い湿生草原に生息し、昆虫やミズなどの小動物や、イネなどの草本の種子を食べる。繁殖期の夕方にはよく鳴くが、姿を見ることは少ない。水を張った休耕地では繁殖するが、乾燥していると利用しない。
現状	かつては、水田に普通に見られた鳥であるが、近年は、観察頻度が減少している。
備考	